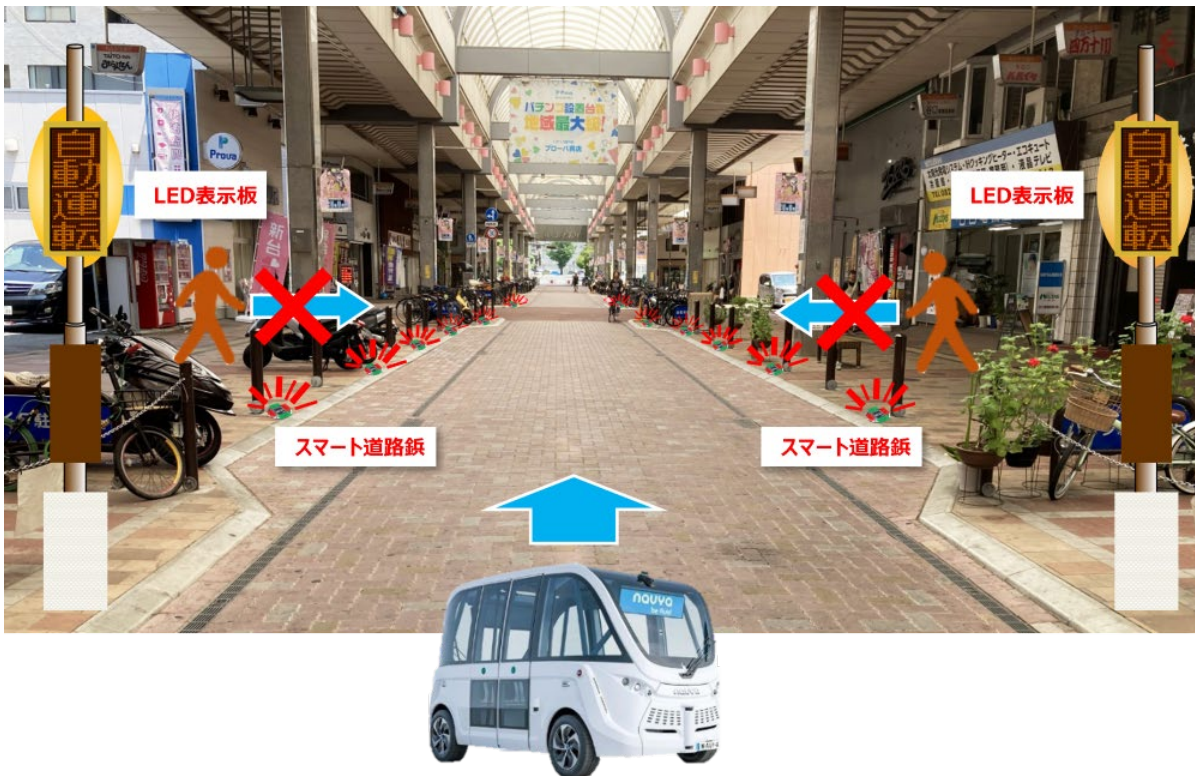


2024年1月17日

報道関係者各位

積水樹脂、呉市の 「次世代モビリティ導入に向けた交通社会実験」に参画 ～歩行者と自動運転車両の共有空間をより安全で快適なものに～

積水樹脂株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長 兼 CEO 馬場浩志、以下「当社」）は、2024年1月18日（木）～21日（日）に実施される「次世代モビリティ導入に向けた交通社会実験」（呉市、および、国土交通省 中国地方整備局 広島国道事務所 実施）において、当社、トヨタ自動車株式会社未来創生センター（本社：愛知県豊田市、未来創生センター長 古賀 伸彦、<https://global.toyota.jp/mobility/frontier-research/>、以下「トヨタ」）、および、株式会社光波（本社：東京都練馬区、代表取締役社長 水間 奈奈世、<https://www.koha.co.jp/>、以下「光波」）と共同開発した「スマート道路鏡」および「LED 表示板（オプトマーカ）」を提供し、参画します。



次世代モビリティ導入に向けた交通社会実験イメージ

本実験では、呉市と広島国道事務所が、呉駅（広島県呉市宝町）と商店街「れんがどおり」を結ぶ約 2km のルートに自動運転車両を運行。その中で、れんがどおりのような歩車混在空間で**自動運転車両接近時における路側からの歩行者に対する注意喚起の実証実験**が行われます。当社はトヨタ、光波と共同で、車両や歩行者に対して安全運転、安全歩行を支援する「スマート道路鏡」と「LED 表示板（オプトマーカ）」を開発し提供します。これらの試作品により、歩行者が車両の接近状況や状態を直感的に理解でき、歩行者に安全な場所へのスムーズな移動を喚起することで、自動運転車両の安全な走行を支援します。

【実験協力の内容】

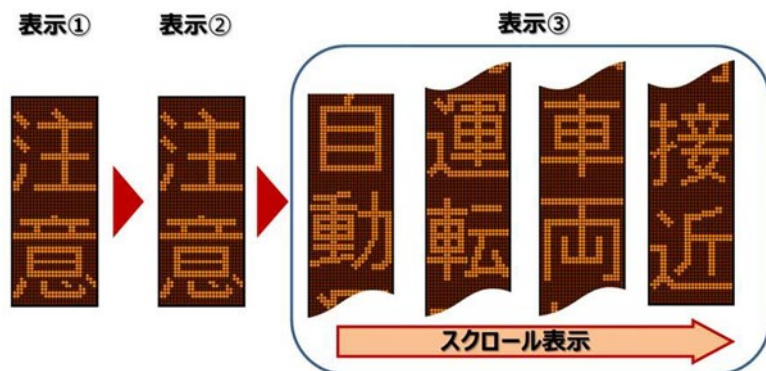


1 スマート道路鈺



従来製品は薄暮から夜間時に単色発光するのに対し、今回開発した試作品は、自動運転車両の接近と連動し、昼夜問わずフルカラー発光にて、歩行者に対し注意喚起を行います。

2 LED 表示板（オプトマーカー）



自動運転車両の接近と連動して歩行者に対し点滅表示とスクロール表示にて注意喚起を行います。

【呉市「次世代モビリティ導入に向けた交通社会実験」概要】（呉市資料より抜粋）

1 実施時期

2024年1月18日(木)～21日(日)
各日 11:00～15:30（呉駅前出発時刻）

2 実験車両

GAUSSIN MACNICA MOBILITY（旧 NAVYA 社）
「ARMA」（自動運転 EV バス）
全長×全幅×全高：4,750mm×2,110mm×2,650mm
乗車定員：最大 15 人（利用者 8 名）
航続距離：100km 最大速度 19km/h



3 ルート

呉駅とれんがどおりを結ぶルート（下図）
〈 距離・所要時間 〉約 2 km、約 30 分

4 実施主体

呉市

5 連携機関

国土交通省 中国地方整備局 広島国道事務所



当社は、長期ビジョン「積水樹脂グループビジョン 2030」において、「自動運転等次世代交通技術」を成長戦略重点分野の 1 つに位置づけています。当社の交通安全製品と IoT 技術の融合により、路車間連携製品を開発。これにより、自動運転車と歩行者、または運転者のいる車両との円滑な相互コミュニケーションの実現をめざし、今までも様々な自治体での社会実験に参画し、その経験を生かしてまいりました。

今後も、自動運転車両をはじめとした次世代モビリティ社会に向けた開発・研究を推進し、自動運転車両、運転者のいる車両、歩行者が共に安全で快適な生活を送る社会をめざしてまいります。



積水樹脂グループビジョン 2030
重点 7 分野

以上

<積水樹脂株式会社>

1954年の創業以来、複合技術を活かし安全・安心・環境保全に貢献するモノづくりによって、公共・民間の幅広い分野で事業を展開しています。<https://www.sekisuijushi.co.jp/>

■ 本リリースに関するお問い合わせ

積水樹脂株式会社 総務広報部 土井 sjc_info@sekisuijushi.co.jp

TEL : 06-6365-3204